

学校経営計画

(1) 教育目標

児童生徒一人一人の発達段階や能力・特性に応じた教育を行うことにより、心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す。

(2) 具体目標

【目指す児童生徒像】

- ① みんなと仲良く協力し合う児童生徒
- ② 何事にも進んで取り組む児童生徒
- ③ 明るく元気でたくましい児童生徒
- ④ 自分の役割をしっかりと果たす児童生徒

(3) 経営方針（スローガン）

- ① 個別の指導計画に基づいた授業を実践し、児童生徒の自立を目指します。
- ② 特別支援教育のセンター的機能を組織的に発揮し地域に貢献します。
- ③ 伸び伸びと学習活動ができるよう、安全で安心な教育環境を保障します。

(4) 教職員の基本姿勢

児童生徒一人一人の能力・特性を最大限に伸ばすため、実践にあたっては次の2つの視点を大切にします。

【児童生徒の視点】

授業に主体的に参加することで、充実した学校生活を送り、健やかに成長する。

【教師の視点】

意欲を促す環境作りと、きめ細やかな支援に努め、明るく楽しい授業を実践する。

(5) 今年度の努力点及び具体策

【学習活動の充実】

- ① 個別の指導計画に基づいた支援により、児童生徒の能力を伸ばす。
- ② 教師間の情報共有と協働での授業づくりに取り組み、授業の効果を高める。
- ③ 地域の教育資源を積極的に活用し、児童生徒の社会生活能力を育む。
- ④ 児童生徒一人一人の発達段階に応じたキャリア教育と進路指導に取り組む。
- ⑤ 市民教育を推進し、社会の一員としての意識を涵養する。

【研究及び研修の推進】

- ① 自立活動の教育課程上の位置づけに関する研究及び研修に取り組む。
- ② 校内外の研究会や研修会などをとおして、個人の資質能力及び組織としての専門性を高める。
- ③ 発達障害に関する研修を充実させる。

【センター的機能を生かした地域支援の推進】

- ① 特別支援学校のセンター的機能の充実に組織的に取り組み、地域に貢献する。
- ② 相談活動や情報提供を積極的に行い、早期発達支援や適切な就学指導の充実を図る。
- ③ 学校公開や研修会等の実施をとおして、特別支援教育の啓発推進に努める。

【安心安全な教育環境の整備】

- ① 児童生徒の健康面の情報を適切に共有する。
- ② 個々の食形態に応じた摂食指導を行う。
- ③ 医療機関、担当教諭、看護師と連携し、医療的ケアの充実に努める。
- ④ 保護者の要望等を踏まえ、スクールバスの安全運行に努める。
- ⑤ 緊急対応マニュアルを整備し、模擬訓練などをとおして周知徹底を図る。

【家庭・関係機関・地域との連携】

- ① 家庭や利用施設との情報交換を行い、支援の方向性を共有する。
- ② 関係機関（放課後等デイサービス、地域生活支援センター、保健福祉機関等）との連携を推進する。
- ③ 居住地校学習や学校間交流をとおし、インクルーシヴ教育を推進する。
- ④ 共生社会の実現に向け、地域と積極的に連携する。

【業務の平均化及び効率化】

- ① 業務及び担当者の適切な配置を検討し、職員間の業務量の差異縮小に努める。
- ② 会議や打合せの精選及び効率化に継続的に取り組む。